
京都府内断層帯地震被害想定調査等業務

報 告 書

令和 7 年 3 月

京 都 府 危 機 管 理 部
中 央 開 発 株 式 会 社

目 次

1. 地震被害想定調査の概要.....	1
1.1 目的	1
1.2 地震動予測	3
1.3 被害想定概要	14
2. 被害想定結果	18
2.1 前回調査との違い(共通項目).....	18
2.2 生駒断層帯	22
2.2.1 前回調査との比較	22
2.2.2 建物被害	26
2.2.3 屋外転倒・落下物の被害.....	27
2.2.4 人的被害	28
2.2.5 ライフライン被害.....	32
2.2.6 交通施設被害	44
2.2.7 生活への影響	46
2.2.8 災害廃棄物	52
2.2.9 その他被害.....	53
2.2.10 防災・減災対策の効果の試算.....	55
2.3 有馬-高槻断層帯	56
2.3.1 前回調査との比較	56
2.3.2 建物被害	61
2.3.3 屋外転倒・落下物の被害.....	62
2.3.4 人的被害	63
2.3.5 ライフライン被害.....	67
2.3.6 交通施設被害	79
2.3.7 生活への影響	81
2.3.8 災害廃棄物	87
2.3.9 その他被害.....	88
2.3.10 防災・減災対策の効果の試算.....	90
2.4 奈良盆地東縁断層帯	91
2.4.1 前回調査との比較	91
2.4.2 建物被害	94
2.4.3 屋外転倒・落下物の被害.....	95
2.4.4 人的被害	96
2.4.5 ライフライン被害.....	100

2.4.6 交通施設被害	112
2.4.7 生活への影響	114
2.4.8 災害廃棄物	120
2.4.9 その他被害.....	121
2.4.10 防災・減災対策の効果の試算.....	123
2.5 木津川断層帯	124
2.5.1 前回調査との比較	124
2.5.2 建物被害	129
2.5.3 屋外転倒・落下物の被害.....	130
2.5.4 人的被害	131
2.5.5 ライフライン被害.....	135
2.5.6 交通施設被害	147
2.5.7 生活への影響	149
2.5.8 災害廃棄物	155
2.5.9 その他被害.....	156
2.5.10 防災・減災対策の効果の試算.....	158
2.6 殿田-神吉-越畑断層	159
2.6.1 前回調査との比較	159
2.6.2 建物被害	163
2.6.3 屋外転倒・落下物の被害.....	164
2.6.4 人的被害	165
2.6.5 ライフライン被害.....	169
2.6.6 交通施設被害	181
2.6.7 生活への影響	183
2.6.8 災害廃棄物	189
2.6.9 その他被害.....	190
2.6.10 防災・減災対策の効果の試算.....	192
2.7 埴生断層	193
2.7.1 前回調査との比較	193
2.7.2 建物被害	197
2.7.3 屋外転倒・落下物の被害.....	198
2.7.4 人的被害	199
2.7.5 ライフライン被害.....	203
2.7.6 交通施設被害	215
2.7.7 生活への影響	217
2.7.8 災害廃棄物	223

2.7.9 その他被害.....	224
2.7.10 防災・減災対策の効果の試算.....	226
2.8 上林川断層	227
2.8.1 前回調査との比較	227
2.8.2 建物被害	231
2.8.3 屋外転倒・落下物の被害.....	232
2.8.4 人的被害	233
2.8.5 ライフライン被害.....	237
2.8.6 交通施設被害	249
2.8.7 生活への影響	251
2.8.8 災害廃棄物	257
2.8.9 その他被害.....	258
2.8.10 防災・減災対策の効果の試算.....	260
2.9 三峠断層	261
2.9.1 前回調査との比較	261
2.9.2 建物被害	265
2.9.3 屋外転倒・落下物の被害.....	266
2.9.4 人的被害	267
2.9.5 ライフライン被害.....	271
2.9.6 交通施設被害	283
2.9.7 生活への影響	285
2.9.8 災害廃棄物	291
2.9.9 その他被害.....	292
2.9.10 防災・減災対策の効果の試算.....	294
2.10 郷村断層帯	295
2.10.1 前回調査との比較	295
2.10.2 建物被害	298
2.10.3 屋外転倒・落下物の被害.....	299
2.10.4 人的被害	300
2.10.5 ライフライン被害.....	304
2.10.6 交通施設被害	316
2.10.7 生活への影響	318
2.10.8 災害廃棄物	324
2.10.9 その他被害.....	325
2.10.10 防災・減災対策の効果の試算.....	327
2.11 山田断層帯	328

2.11.1 前回調査との比較	328
2.11.2 建物被害	332
2.11.3 屋外転倒・落下物の被害.....	333
2.11.4 人的被害	334
2.11.5 ライフライン被害.....	338
2.11.6 交通施設被害	350
2.11.7 生活への影響	352
2.11.8 災害廃棄物	358
2.11.9 その他被害.....	359
2.11.10 防災・減災対策の効果の試算.....	361
2.12 社会経済活動の中核機能への影響.....	362
2.13 複合災害	363
3. 地震災害シナリオ	364
3.1 シナリオの目的・作成方法	364
3.2 シナリオ(奈良盆地東縁断層帯)	365
3.3 シナリオ(埴生断層)	378
3.4 シナリオ(三峠断層)	391
3.5 シナリオ(山田断層帯)	405

1. 地震被害想定調査の概要

1.1 目的

京都府では、平成 20 年に府内 22 の活断層の被害想定を算出の上公表し、防災体制の構築や府民向けに啓発を行ってきたところであるが、この間の社会基盤データ（人口や耐震化率等）の著しい変化もあり、死者数などの想定にも大きな変化が生じていることが予見される。また、府内 22 活断層の地震の発生確率が高まっており、防災体制を強化し対策を講じる必要がある。

以上のことから、府内市町村で最大の被害が想定される府内の主要な断層地震の被害想定の見直し及び発災から応急復旧までの時間の経過を踏まえた被害様相を作成し、防災体制の強化や社会活動の維持、早期復旧等の検討を実施することとする。

以下の京都府内 10 断層帯地震被害想定の見直しを実施した。

- ・生駒断層帯
- ・有馬-高槻断層帯
- ・奈良盆地東縁断層帯
- ・木津川断層帯
- ・殿田-神吉-越畑断層
- ・埴生断層
- ・上林川断層
- ・三峠断層
- ・郷村断層帯
- ・山田断層帯

地震被害想定見直しに係る条件を以下に示す。

<地震被害想定見直しに係る条件>

- ・地震動予測に関するデータについては、京都府地震被害想定調査（H20 公表）の波形データや 250mメッシュの地震動分布等を使用した。
- ・被害予測手法は、令和 5 年度に京都府が実施した「花折断層帯地震被害想定調査等業務」と同一の手法で行うこととした。
- ・最小の想定単位は「町丁目」とした。
- ・収集したデータは、緯度経度を付加し GIS 上に登録し出典と収集時期を明記した。
- ・平成 20 年及び平成 29 年に公表した被害想定結果との比較分析を行った。地震動予測に関するデータについては、京都府地震被害想定調査（H20 公表）の波形データや 250m メッシュの地震動分布等を使用した。
- ・被害想定的前提条件（想定シーン）は冬・早朝（5 時）、夏・昼（12 時）、冬・夕方（18 時）とした。

表 1.1-1 被害想定 of 想定シーン

時間帯	設定理由
冬 5 時	多くが自宅で就寝中に被災するため、家屋倒壊による死者が発生する危険性が高い。 オフィスや繁華街の滞留者や、鉄道・道路利用者は少ない。
夏 12 時	オフィス、繁華街等に多数の滞留者が集中しており、自宅外で被災するケースが多い。 木造建物内滞留人口は、1 日の中で少ない時間帯であり、老朽木造住宅の倒壊による死者数は冬深夜と比較して少ない。
冬 18 時	住宅、飲食店などで火気使用が最も多い時間帯で、出火件数が最も多くなる。 オフィスや繁華街周辺のほか、ターミナル駅にも滞留者が多数存在する。 鉄道、道路もほぼ帰宅ラッシュに近い状況でもあり、交通被害による人的被害や交通機能支障による影響が大きい。

1.2 地震動予測

- ・想定断層は、平成 20 年および平成 29 年の京都府地震被害想定調査で実施した京都府内の 10 断層を対象とした。断層諸元を表 1.2-1 に示す。

表 1.2-1 断層諸元

断層名	断層の位置 (住所表記)	長さ km	幅 km	傾斜角 度	Mj	Mw	断層タイプ (変位)
生駒断層帯	大阪府羽曳野市～京都府八幡市	38	21	45E,60E	7.5	7.1	東側隆起
有馬-高槻断層帯	兵庫県宝塚市 ～京都府乙訓郡大山崎町	34	14	85N	7.2	6.9	右横ずれ
奈良盆地東縁断層帯	奈良県桜井市～京都府城陽市	35	21	45E	7.5	7.1	東側隆起
木津川断層帯	京都府相楽郡笠置町 ～三重県伊賀市	31	15	80N	7.3	7.0	右横ずれ
殿田-神吉-越畑断層	京都府船井郡京丹波町 ～京都府亀岡市～京都市右京区	31.5	14,15	90,70E	7.2	6.9	左横ずれ
埴生断層	兵庫県篠山市～京都府亀岡市	17	15	90	6.9	6.6	左横ずれ
上林川断層	京都府綾部市(西南部～東北部)	26	15	90	7.2	6.9	右横ずれ
三峠断層	京都府福知山市 ～京都府船井郡京丹波町	26	15	90	7.2	6.9	左横ずれ
郷村断層帯	京都府京丹後市～丹後半島沖合	57.6	13.9	90	7.6	7.2	左横ずれ
山田断層帯	兵庫県豊岡市～京都府宮津市	33	17	60N	7.4	7.1	右横ずれ

Mj：気象庁マグニチュード、Mw：モーメントマグニチュード

(1) 生駒断層帯

- ・震度 7 は、城陽市、八幡市、京田辺市の木津川沿いに分布する。
- ・震度 6 強は、京都市南西部と木津川沿いの低平地部に広く分布する。
- ・京都市南西部と木津川沿いの低平地部で液状化危険度が高い。

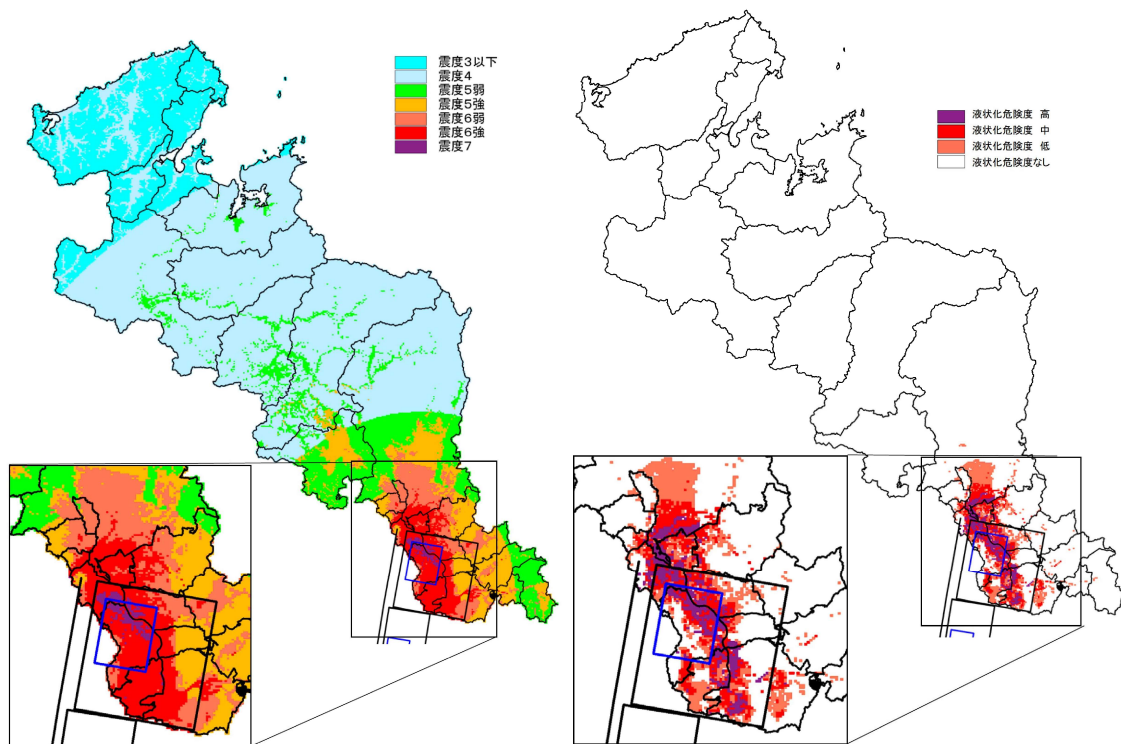


図 1.2-1 生駒断層帯の震度分布図（左図）と液状化危険度結果（右図）
（京都府地震被害想定調査（平成 20 年））

(2) 有馬-高槻断層帯

- ・震度 7 は、京都市伏見区、長岡京市、八幡市、大山崎町、久御山町の一部に分布する。
- ・震度 6 強は、京都市南部の市街地から宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町の一部に分布する。
- ・京都市南部から河川（桂川、宇治川、木津川）沿いで液状化危険度が高い。

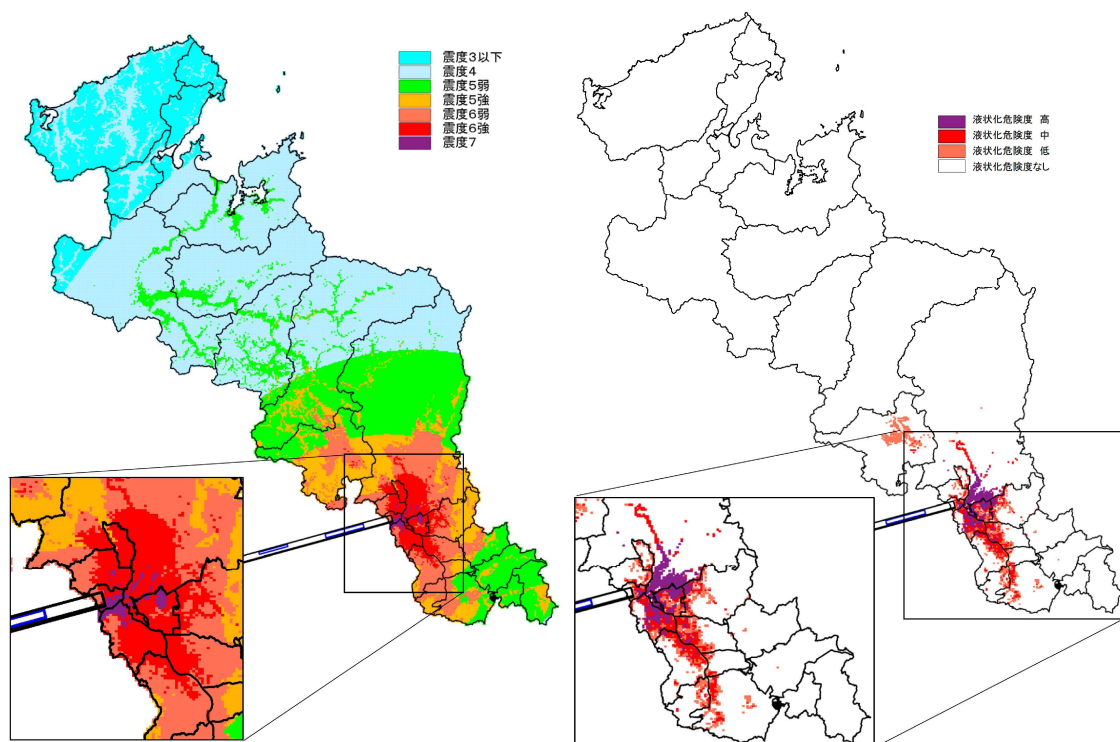


図 1.2-2 有馬-高槻断層帯の震度分布図（左図）と液状化危険度結果（右図）
（京都府地震被害想定調査（平成 20 年））

(3) 奈良盆地東縁断層帯

- ・震度 7 は、木津川市、井手町の一部に分布する。
- ・震度 6 強は、府南部の木津川に沿って広く分布する。
- ・府南部の木津川沿いで液状化危険度が高い。

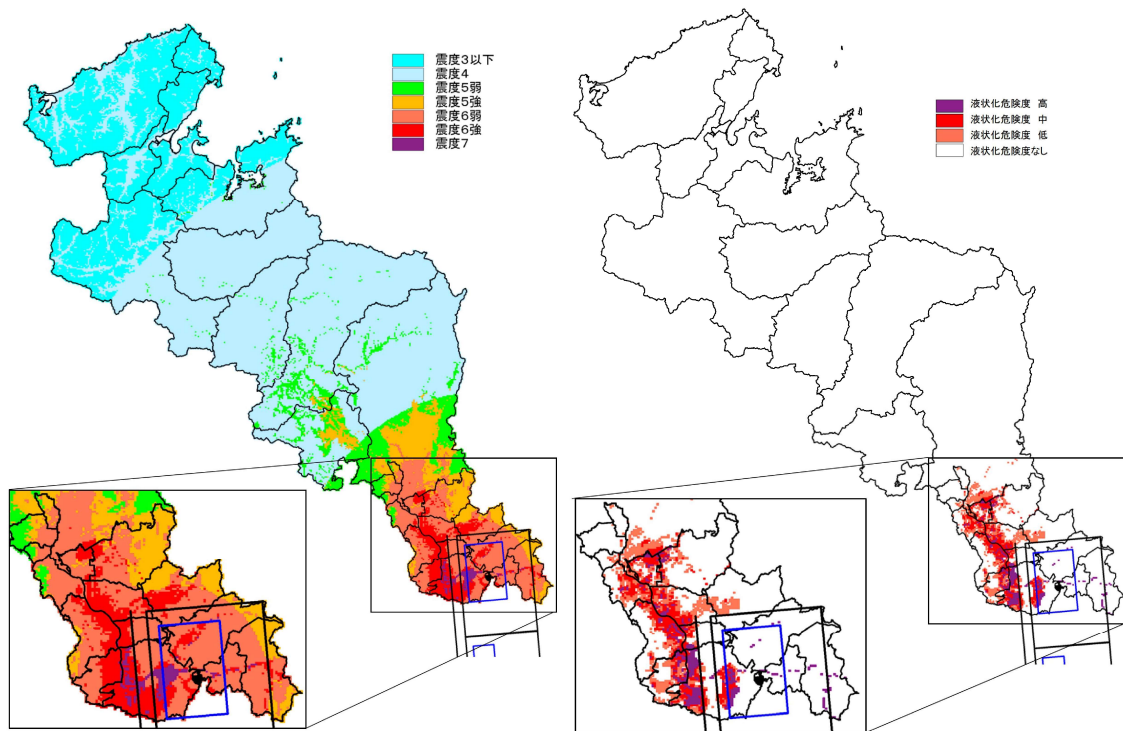


図 1.2-3 奈良盆地東縁断層帯の震度分布図（左図）と液状化危険度結果（右図）
（京都府地震被害想定調査（平成 20 年））

(4) 木津川断層帯

- ・震度 7 は、木津川市、笠置町、南山城村に分布する。
- ・震度 6 強は、宇治市、久御山町の一部と府南部の木津川沿いの市町村に広く分布する。
- ・府南部の木津川沿いで液状化危険度が高い。

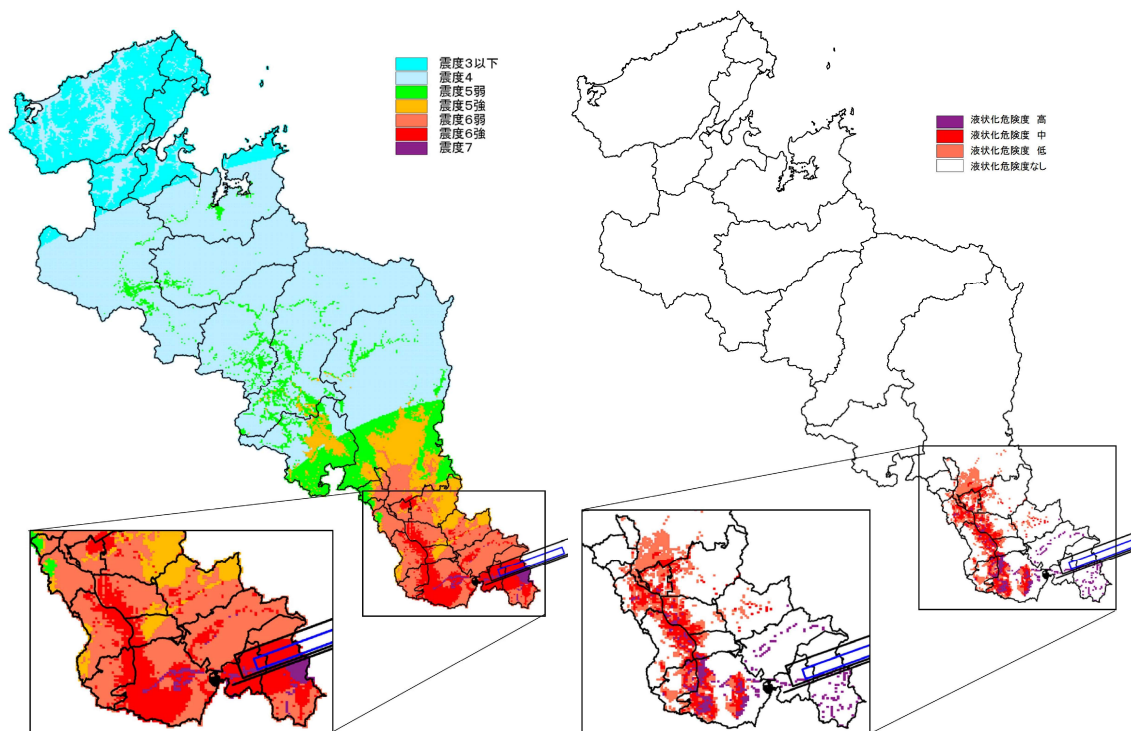


図 1.2-4 木津川断層帯の震度分布図（左図）と液状化危険度結果（右図）
（京都府地震被害想定調査（平成 20 年））

(5) 殿田-神吉-越畑断層

- ・震度 7 は、亀岡市北部と南丹市南部の一部に分布する。
- ・震度 6 強は、亀岡市北部と南丹市南部の平野部に分布する。
- ・亀岡市北部と南丹市南部の平野部で液状化危険度が高い。

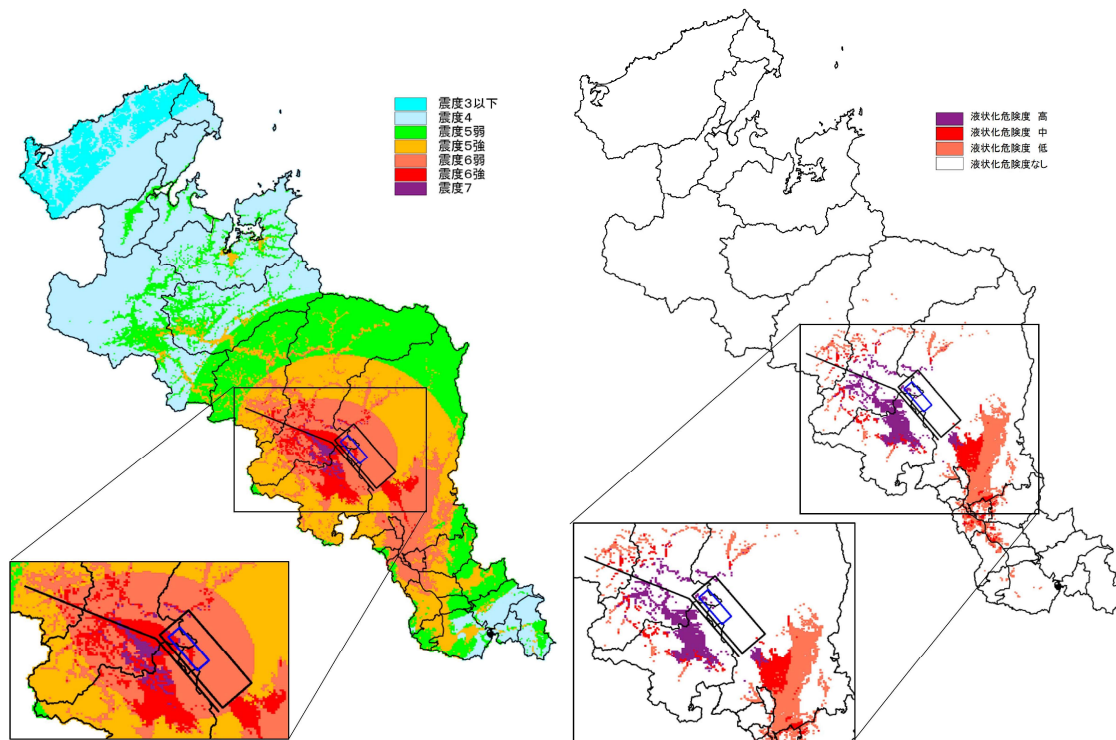


図 1.2-5 殿田-神吉-越畑断層の震度分布図（左図）と液状化危険度結果（右図）
（京都府地震被害想定調査（平成 20 年））

(6) 埴生断層

- ・震度 7 は、亀岡市の一部に分布する。
- ・震度 6 強は、亀岡市の平野部と南丹市の一部に分布する。
- ・亀岡市の平野部と南丹市の一部で液状化危険度が高い。

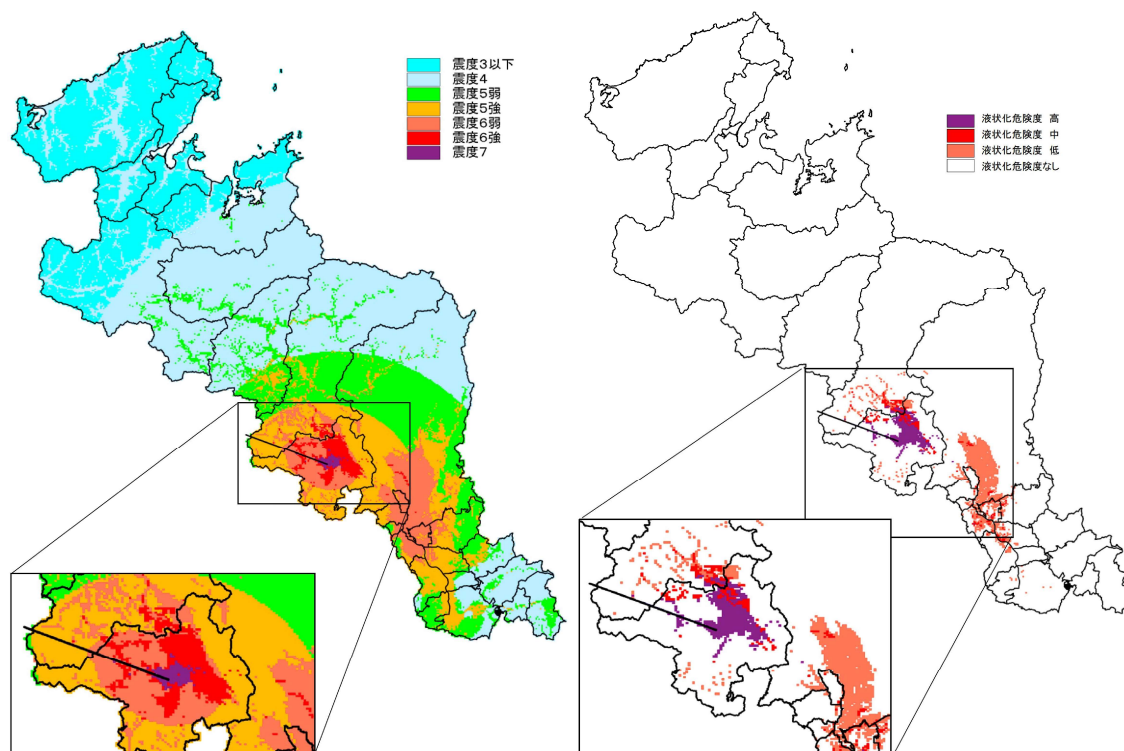


図 1.2-6 埴生断層の震度分布図（左図）と液状化危険度結果（右図）
（京都府地震被害想定調査（平成 20 年））

(7) 上林川断層

- ・震度 7 は、福知山市の南西部と綾部市の南西部の一部に分布する。
- ・震度 6 強は、福知山市、舞鶴市、綾部市、京丹波町の平野部に広く分布する。
- ・福知山市、綾部市の平野部で液状化危険度が高い。

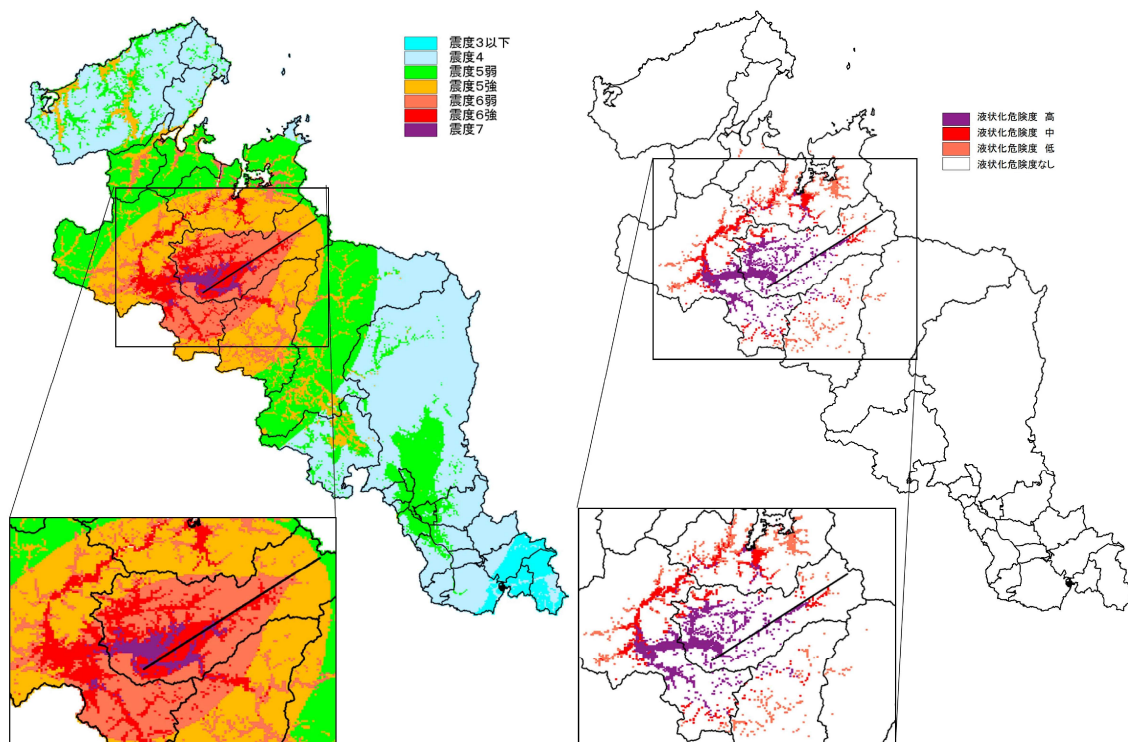


図 1.2-7 上林川断層の震度分布図（左図）と液状化危険度結果（右図）
（京都府地震被害想定調査（平成 20 年））

(8) 三峠断層

- ・震度 7 は、福知山市の中・南部と綾部市の西部に分布する。
- ・震度 6 強は、福知山市、綾部市、京丹波町の河川沿いに広く分布する。
- ・福知山市の中・南部と綾部市の西部で液状化危険度が高い。

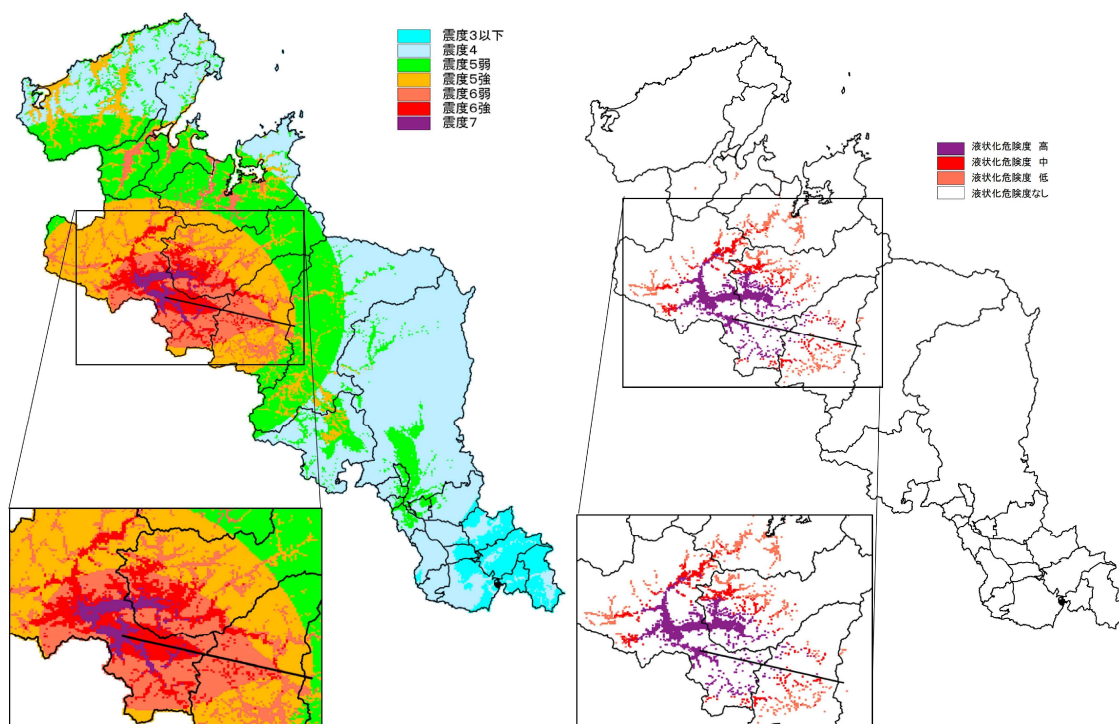


図 1.2-8 三峠断層の震度分布図（左図）と液状化危険度結果（右図）
（京都府地震被害想定調査（平成 20 年））

(9) 郷村断層帯

- ・震度 7 は、宮津市、京丹後市、与謝野町の平野部に広く分布する。
- ・震度 6 強は、京丹後市、与謝野町の平野部や山地部に広く分布するほか、福知山市、舞鶴市、宮津市、伊根町の平野部に広く分布し、綾部市の平野部の一部にも分布する。
- ・福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の平野部で液状化危険度が高いほか、南丹市、京丹波町の平野部の一部で液状化危険度が高い。

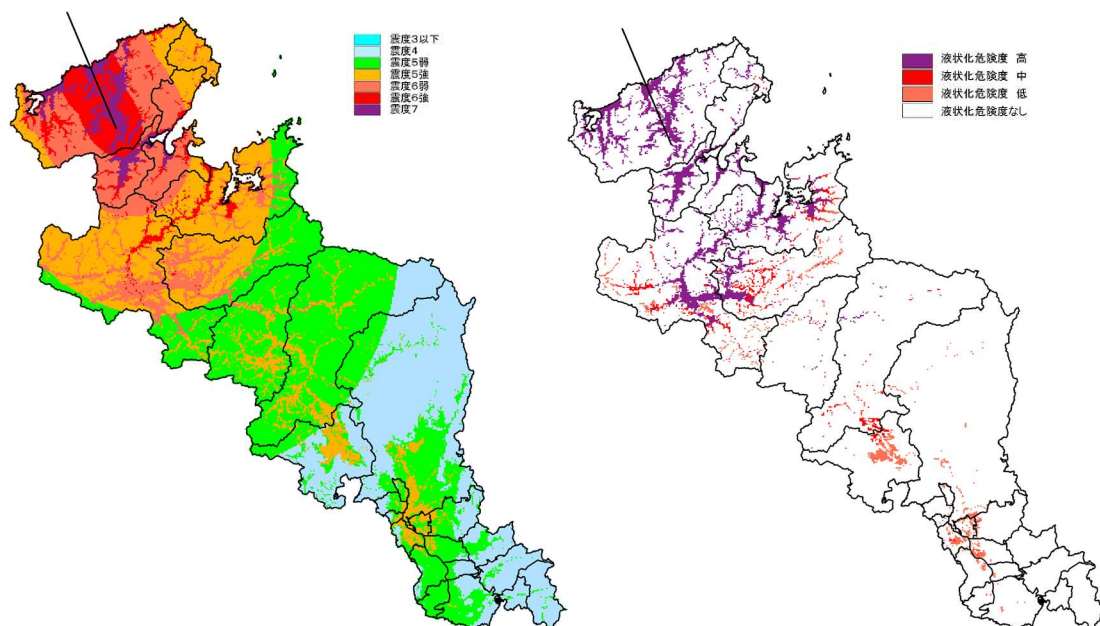


図 1.2-9 郷村断層帯の震度分布図（左図）と液状化危険度結果（右図）

（日本海における最大クラスの地震・津波による被害想定（平成 29 年））

(10) 山田断層帯

- ・震度 7 は、京丹後市の平野部及び与謝野町北東部の平野部に分布する。
- ・震度 6 強は、宮津市、京丹後市、与謝野町の平野部に広く分布する。
- ・宮津市、京丹後市、与謝野町の平野部で液状化危険度が高い。

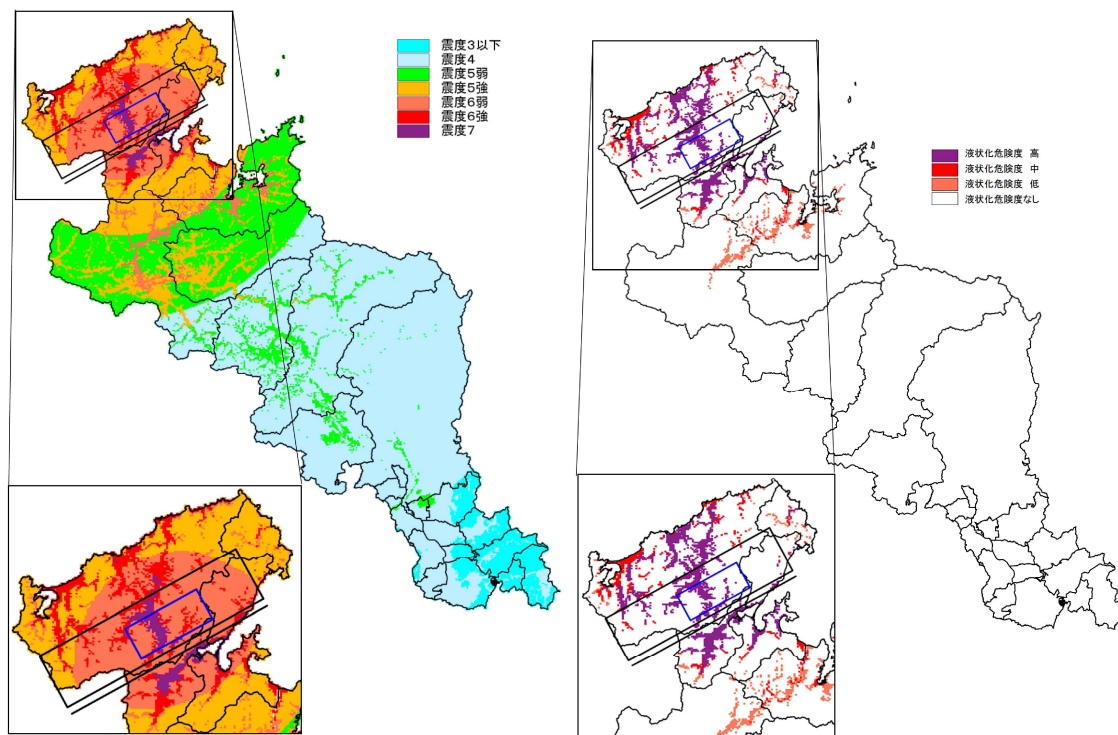


図 1.2-10 山田断層帯の震度分布図（左図）と液状化危険度結果（右図）
（京都府地震被害想定調査（平成 20 年））

1.3 被害想定概要

- ・今回の被害想定調査の概要は次のとおりである。

【生駒断層】

	人的被害（人）					建物被害（棟）		
	死者	負傷者数		要救助者	避難者	全壊	半壊	焼失
		重傷者数						
京都市	90 (490)	2,600 (9,410)	200 (550)	800 (4,420)	13,700 (133,440)	3,200 (14,720)	24,800 (53,330)	200 (290)
山城広域振興局	900 (2,890)	7,400 (20,690)	1,400 (2,940)	5,400 (14,020)	61,300 (228,520)	25,400 (49,890)	40,500 (67,510)	3,400 (4,670)
南丹広域振興局	0 (0)	30 (250)	0 (0)	0 (50)	100 (5,080)	50 (600)	500 (2,850)	10 (0)
中丹広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (130)	10 (20)	30 (70)	0 (0)
丹後広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	990 (3,380)	10,030 (30,350)	1,600 (3,490)	6,200 (18,490)	75,100 (367,170)	28,660 (65,230)	65,830 (123,760)	3,610 (4,960)

()：前回調査

【有馬－高槻断層】

	人的被害（人）					建物被害（棟）		
	死者	負傷者数		要救助者	避難者	全壊	半壊	焼失
		重傷者数						
京都市	600 (500)	9,000 (24,470)	1,000 (2,620)	5,400 (14,640)	68,400 (111,170)	19,800 (18,010)	78,200 (150,480)	1,300 (3,250)
山城広域振興局	700 (2,290)	6,600 (17,970)	1,200 (2,460)	4,500 (11,490)	54,300 (209,050)	19,100 (39,010)	36,700 (62,450)	3,900 (3,040)
南丹広域振興局	20 (100)	400 (1,470)	30 (110)	100 (630)	2,000 (19,810)	800 (3,380)	4,600 (9,850)	20 (150)
中丹広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (470)	30 (80)	80 (290)	0 (0)
丹後広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	1,320 (2,890)	16,000 (43,910)	2,230 (5,190)	10,000 (26,760)	124,700 (340,500)	39,730 (60,480)	119,580 (223,070)	5,220 (6,440)

()：前回調査

※京都市の前回数値は京都市第3次地震被害想定調査に基づいており、地震動の想定が異なるため今回増加

【奈良盆地東縁断層帯】

	人的被害（人）					建物被害（棟）		
	死者	負傷者数		要救助者	避難者	全壊	半壊	焼失
		重傷者数						
京都市	20 (130)	1,100 (5,280)	30 (160)	100 (2,040)	4,700 (83,410)	600 (7,250)	12,000 (35,230)	90 (70)
山城広域振興局	500 (1,760)	5,100 (14,360)	900 (1,840)	3,100 (8,680)	35,400 (163,240)	19,200 (38,590)	30,400 (53,250)	1,800 (4,550)
南丹広域振興局	0 (0)	10 (60)	0 (0)	0 (10)	20 (1,820)	20 (160)	100 (1,030)	0 (0)
中丹広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (70)	0 (10)	10 (20)	0 (0)
丹後広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	520 (1,890)	6,210 (19,700)	930 (2,000)	3,200 (10,730)	40,120 (248,540)	19,820 (46,010)	42,510 (89,530)	1,890 (4,620)

()：前回調査

【木津川断層帯】

	人の被害（人）					建物被害（棟）		
	死者	負傷者数		要救助者	避難者	全壊	半壊	焼失
		重傷者数						
京都市	20 (140)	1,200 (5,550)	30 (170)	100 (2,110)	5,000 (86,690)	700 (7,580)	12,800 (36,620)	90 (70)
山城広域振興局	400 (1,420)	4,500 (12,760)	700 (1,510)	2,300 (7,140)	27,500 (146,840)	15,500 (32,780)	29,000 (50,640)	1,300 (3,870)
南丹広域振興局	0 (0)	10 (120)	0 (0)	0 (20)	40 (2,810)	40 (280)	200 (1,620)	0 (0)
中丹広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (120)	10 (20)	20 (70)	0 (0)
丹後広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	420 (1,560)	5,710 (18,430)	730 (1,680)	2,400 (9,270)	32,540 (236,460)	16,250 (40,660)	42,020 (88,950)	1,390 (3,940)

〇：前回調査

【殿田－神吉－越畑断層】

【被害】 被害者数	人の被害（人）					建物被害（棟）		
	死者	負傷者数		要救助者	避難者	全壊	半壊	焼失
		重傷者数						
京都市	700 (2, 390)	15, 600 (25, 130)	1, 600 (2, 690)	4, 100 (13, 550)	45, 800 (305, 760)	18, 100 (50, 640)	77, 000 (108, 870)	4, 600 (1, 990)
山城広域振興局	40 (270)	1, 100 (4, 200)	60 (310)	200 (1, 780)	4, 300 (59, 190)	1, 200 (5, 970)	8, 700 (22, 570)	60 (320)
南丹広域振興局	300 (750)	1, 700 (5, 570)	400 (860)	1, 800 (3, 630)	17, 300 (57, 690)	12, 900 (20, 540)	14, 700 (21, 810)	400 (3, 300)
中丹広域振興局	10 (0)	10 (30)	10 (0)	0 (0)	20 (3, 160)	100 (360)	300 (2, 070)	0 (0)
丹後広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (220)	10 (50)	20 (170)	0 (0)
合計	1, 050 (3, 410)	18, 410 (34, 930)	2, 070 (3, 860)	6, 100 (18, 960)	67, 420 (426, 020)	32, 310 (77, 560)	100, 720 (155, 490)	5, 060 (5, 610)

〇：前回調査

【埴生断層】

	人の被害（人）					建物被害（棟）		
	死者	負傷者数		要救助者	避難者	全壊	半壊	焼失
		重傷者数						
京都市	100 (710)	3,500 (11,840)	200 (780)	900 (5,240)	17,900 (164,150)	4,000 (18,760)	36,500 (65,460)	200 (320)
山城広域振興局	30 (190)	800 (3,420)	40 (210)	200 (1,410)	3,200 (49,110)	800 (4,610)	6,900 (18,820)	50 (150)
南丹広域振興局	200 (610)	1,500 (4,710)	300 (710)	1,500 (3,080)	15,000 (48,960)	9,000 (14,660)	11,700 (17,560)	400 (1,790)
中丹広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (110)	10 (20)	20 (80)	0 (0)
丹後広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	330 (1,510)	5,800 (19,970)	540 (1,700)	2,600 (9,730)	36,100 (262,330)	13,810 (38,050)	55,120 (101,920)	650 (2,260)

〇：前回調査

【上林川断層】

	人の被害（人）					建物被害（棟）		
	死者	負傷者数		要救助者	避難者	全壊	半壊	焼失
		重傷者数						
京都市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (20)	30 (2, 120)	20 (120)	50 (740)	10 (0)
山城広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (10)	10 (490)	0 (30)	10 (140)	10 (0)
南丹広域振興局	20 (50)	200 (530)	20 (50)	40 (250)	500 (8, 700)	700 (2, 920)	2, 500 (6, 540)	10 (360)
中丹広域振興局	400 (1, 090)	2, 700 (7, 350)	600 (1, 260)	2, 800 (5, 360)	26, 900 (81, 600)	22, 200 (34, 680)	25, 200 (33, 290)	500 (4, 510)
丹後広域振興局	10 (20)	90 (410)	10 (20)	10 (130)	300 (8, 580)	200 (1, 740)	2, 100 (6, 890)	10 (100)
合計	430 (1, 160)	2, 990 (8, 290)	630 (1, 330)	2, 850 (5, 770)	27, 740 (101, 490)	23, 120 (39, 490)	29, 860 (47, 600)	540 (4, 970)

0：前回調査

【三峠断層】

	人の被害（人）					建物被害（棟）		
	死者	負傷者数		要救助者	避難者	全壊	半壊	焼失
		重傷者数						
京都市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (10)	10 (780)	10 (60)	20 (250)	10 (0)
山城広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (170)	0 (10)	0 (30)	0 (0)
南丹広域振興局	20 (60)	200 (530)	20 (60)	50 (280)	600 (8, 560)	800 (3, 150)	2, 800 (6, 280)	10 (330)
中丹広域振興局	400 (1, 060)	2, 400 (6, 850)	600 (1, 240)	2, 900 (5, 500)	27, 700 (75, 290)	21, 000 (32, 920)	21, 200 (29, 350)	700 (4, 400)
丹後広域振興局	10 (30)	100 (540)	10 (30)	10 (160)	400 (10, 930)	200 (2, 200)	2, 800 (8, 740)	10 (160)
合計	430 (1, 150)	2, 700 (7, 920)	630 (1, 330)	2, 960 (5, 950)	28, 710 (95, 730)	22, 010 (38, 340)	26, 820 (44, 650)	730 (4, 890)

0：前回調査

【郷村断層帯】

	人の被害（人）					建物被害（棟）		
	死者	負傷者数		要救助者	避難者	全壊	半壊	焼失
		重傷者数						
京都市	0 (0)	20 (40)	0 (0)	0 (0)	100 (530)	60 (30)	200 (240)	20 (0)
山城広域振興局	0 (0)	10 (0)	0 (0)	0 (0)	50 (380)	100 (40)	90 (120)	20 (0)
南丹広域振興局	10 (0)	40 (110)	10 (0)	0 (0)	70 (860)	200 (110)	700 (690)	10 (0)
中丹広域振興局	100 (390)	1,400 (4,610)	200 (620)	800 (1,060)	9,200 (41,510)	7,500 (7,570)	19,100 (20,080)	60 (3,510)
丹後広域振興局	900 (5,010)	3,400 (13,210)	1,300 (5,860)	5,300 (5,850)	47,900 (72,040)	55,000 (57,650)	21,100 (14,990)	1,900 (15,020)
合計	1,010 (5,400)	4,870 (17,970)	1,510 (6,480)	6,100 (6,910)	57,320 (115,320)	62,860 (65,400)	41,190 (36,120)	2,010 (18,530)

0：前回調査

【山田断層帯】

	人の被害（人）					建物被害（棟）		
	死者	負傷者数		要救助者	避難者	全壊	半壊	焼失
		重傷者数						
京都市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (150)	0 (10)	0 (30)	0 (0)
山城広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (50)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
南丹広域振興局	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (650)	30 (140)	70 (560)	0 (0)
中丹広域振興局	40 (80)	400 (1,780)	40 (80)	90 (630)	1,800 (28,650)	1,100 (5,340)	7,000 (16,570)	20 (30)
丹後広域振興局	500 (1,570)	2,600 (7,250)	800 (1,490)	3,500 (6,120)	32,400 (78,600)	35,800 (49,490)	24,700 (32,190)	1,100 (8,520)
合計	540 (1,650)	3,000 (9,030)	840 (1,570)	3,590 (6,750)	34,200 (108,100)	36,930 (54,980)	31,770 (49,350)	1,120 (8,550)

() : 前回調査